



著作目録(佐藤昌介)

著者	東北大学史料館
号	187
発行年	1981-03
URL	http://hdl.handle.net/10097/63410

佐藤昌介教授著作目録

昭和 56 年 3 月

東北大学記念資料室

(著作目録第 187 号)

佐藤昌介教授略歴

本籍地	東京都世田谷区
現住所	仙台市
昭和18年9月	東京帝国大学文学部国史学科卒業
昭和18年10月30日	東京帝国大学文学部大学院入学
昭和19年4月5日	仙台工業専門学校講師
昭和21年12月27日	仙台工業専門学校教授
昭和25年4月1日	東北大学講師（教養部）
昭和33年4月1日	東北大学助教授（教養部）
昭和37年3月31日	文学博士（東北大学）
昭和39年12月16日	東北大学教授（教養部）
昭和56年4月1日	停年退職

著 作 目 録

著 書 ・ 論 文	誌名・出版店名	発行年月
著 書		
洋学史研究序説	岩 波 書 店	1964年5月刊
科学史（体系日本史叢書）杉本勲・中山茂と共著	山 川 出 版 社	1967年12月刊
洋学史の研究	中 央 公 論 社	1980年11月刊
校 注 書		
日本思想大系55『渡辺崋山・高野長英・佐久間象山・横井小楠・橋本左内』（うち、渡辺崋山・高野長英を担当）	岩 波 書 店	1971年6月刊
日本思想大系64『洋学』上（うち、前野良沢・杉田玄白・大槻玄沢の論稿5編を担当）	岩 波 書 店	1976年11月刊
崋山・長英論集（岩波文庫）	岩 波 書 店	1978年8月刊
日本の名著25『渡辺崋山・高野長英』（責任編集）	中 央 公 論 社	1972年11月刊
論 文		
高野長英の学問的態度	科 学 思 潮 2の12	1943年12月
渡辺崋山の洋学研究と蛮社の獄	文 化 18の1	1954年1月
「蛮社」の起源とその実態	日 本 歴 史 69	1954年2月
渡辺崋山自筆稿本「外国事情書」その他について	史 学 雑 誌 64の4	1955年4月
蛮社の獄の真相	日 本 歴 史 92	1956年3月
洋学の権力隷属化に関する一考察（上・下）	日 本 歴 史 105・106	1957年3月、4月
勃興期における洋学の特質と封建批判論の展開 伊東多三郎編『日本国民生活史の研究』学問教育編	吉 川 弘 文 館	1958年9月
渡辺崋山「諸国建地草図」について	東北大学教養部文科紀要3	1959年3月

天保13年イギリス艦隊日本渡来の秘密情報について	蘭学資料研究会研究報告 48	1959年7月
阿片戦争と天保期の政局—幕府の軍事改革をめぐって—	史学雑誌 69の1	1960年1月
江戸時代の科学と思想 講座今日の哲学Ⅲ 花田圭介編『科学論』	三一書房	1960年6月
アヘン戦争の日本に及ぼせる影響	歴史教育 8の11	1960年11月
渡辺崋山と田原藩政	東北大学教養部紀要10	1963年
天保期における江戸湾防備問題の展開	歴史 23・24	1963年
水野忠邦と鳥居耀藏 北島正元編『江戸幕府—その実力者たち』下	人物往来社	1964年5月
田原藩 北島正元・児玉幸太編『物語藩史』	人物往来社	1964年12月
天保改革の評価をめぐって	日本歴史 212	1966年1月
海防論の系譜と現代	潮 68	1966年2月
徳川斉昭と渡辺崋山	茨城県史研究 11	1968年7月
幕末洋学者の世界認識 市井三郎編『開国の苦しみ』（明治の群像1）	三一書房	1969年2月
展望：洋学史	科学史研究 97	1971年春
渡辺崋山と高野長英	日本思想大系55 解説 岩波書店	1971年6月
渡辺崋山稿「外国事情書」の基礎的研究	東北大学教養部紀要15	1972年2月
経世家崋山と科学者長英	日本の名著 25 解説 中央公論社	1972年1月
江戸期開明思想の意義	伝統と現代 22	1973年7月
洋学の思想史的基礎考察	豊田武教授還暦記念会 編『日本近世史の地方的展開』吉川弘文館	1973年11月
幕末の洋学者たち	日本の科学と技術 165	1974年2月
蘭学における実理と実用—杉田玄白の医学思想を中心にして—	科学史研究 110	1974年6月

化学教育のはじまり	化学と工業 29の9	1976年9月
洋学の思想的特質と封建批判論・海防論	岩波書店 日本思想大系 64 解説	1976年11月
高島秋帆処罰事件の研究	東北大学教養部紀要25	1977年2月
三英と玄朴	歴史と文学 23	1978年7月
弘化嘉永年間における幕府の对外政策の基調について 石井孝編『幕末維新期の研究』	吉川弘文館	1978年1月
高野長英と島津斉彬	東北大学教養部紀要32	1981年2月
高島流砲術一件	岩波講座日本歴史20月報	1963年11月
鎖国の概念について	科学史手帖12（日本科学技術史大系月報）	1966年6月
「紅毛談」の絶版	体系日本史叢書12月報	1967年12月
本多利明と蘭学	日本思想大系44月報	1970年6月
英国公使パークスの大学設立勧告『図説日本の歴史』13月報	集英社	1976年2月
崙山の西洋知識 崙山の写生帳に寄せて2	（日本図書信販月報）	1976年5月
香港総督デーヴィスの日本開国計画と幕府の反応	『神奈川県史』資料編10（近世7）月報	1978年3月
赤蝦夷風説考 『日本と世界の歴史』16	学習研究社	1970年12月
シーボルト事件 『日本と世界の歴史』17	学習研究社	1971年1月
江川坦庵 緒方富雄『江戸時代の洋学者たち』	人物往来社	1972年9月
高野長英 緒方富雄「江戸時代の洋学者たち」	人物往来社	1972年9月
北方の風雲 『日本の歴史』11	研秀出版 K K	1973年1月
蘭学における科学思想	Graphicatin 91	1974年1月
渡辺崙山 人物日本の歴史15『封建の異端』	小学館	1975年6月
蘭学事始・洋学の弾圧 人物探訪『日本の歴史』12	暁教育図書	1975年7月
座礁した蒸気船買入れ—開国前夜のエピソード—	市民グラフ「ヨコハマ」黒船渡来125年記念臨時増刊号	1978年11月

通詞と異国 大航海時代の日本 5 『日本から 小 学 館 1978年12月
みた異国』

書 評

石井孝著『増訂明治維新の国際的環境』 歴 史 35 1966年10月

吉田光邦著『江戸の洋学者たち』 自 然 24の11 1966年10月

源了円著『徳川合理思想の系譜』 朝日ジャーナル14の34 1972年 9 月22日

道家達将著『日本の科学の夜明け』 自 然 34の 8 1976年 8 月